



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

11月28日発行 No.10
小金井市前原町3-4-22
TEL 042-383-1146
FAX 042-382-2046
HP: <https://www.maehara.school>

本気で取り組んだ先につかむもの～けやきステージフェスタを終えて

校長 小柳 政憲

都内では、昨年度よりも6週も早くインフルエンザの患者報告数が警報基準を上回ったというニュースが聞こえてきていましたが、本校を含めた市内小中学校でも、インフルエンザの流行が拡大しています。インフルエンザに関わらず、休んでいる子供たちの一日も早い回復を祈っています。

11月の13日から15日の三日間で、けやきステージフェスタを開催しました。練習の段階から、感染症対策を万全に取り、また、ご家庭でも健康管理をしていただきながら迎えました。15日の保護者鑑賞日には、学級閉鎖をした学年を除いた3、4、6年生が対面で上演し、1、2、5年生がリハーサルの日撮影した動画をスクリーンで上映するという形で実施しました。開催自体をどうするか非常に悩みましたが、この日のために時間をつくっていただいたであろうご家族や関係者等の方々がいることや観てもらうことを励みに頑張ってきた子供たちのことを考えて、実施を決定しました。多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、温かい拍手で称えていただきました。ありがとうございました。スクリーン上映の学年につきましては、別日を設けて保護者の方に参観していただき、無事終了することができました。時間の調整をして参集してくださった皆様、本当にありがとうございました。

加速度的に変化し、課題が山積していくと思われるこれからの世の中で、人と人の絆を大切に助け合うことのできる心や力がより大切になると考えます。そのために、表現力と表現意欲の育成を願い、3年前にけやき祭を学習発表会ではなく劇にもどしました。私も教員時代に指導してきたので分かるのですが、すべての子供たちに達成感をもたせるために劇を仕上げていくのはものすごくエネルギーを使います。しかし、よい台本をもとに練習を重ねていくと、少しずつ上手になっていく自分や仲間を認識したころから、子ども自身が劇を楽しむ瞬間が訪れます。そして、さらに教員の本気と子供たちの本気のエネルギーがぶつかり合うことで急激に成長していくのです。今回も、表現力にとどまらない、さまざまな面で成長する姿を目にすることができました。

- ・緊張したけど、今までで一番大きな声が出せた。
- ・次のけやき祭では、もっとセリフの多い役に挑戦したい。
- ・けやき祭があって元気が出て、楽しく登校できた。
- ・親からも「めっちゃくちゃよかったよ」と言われてうれしかったし、自分でもよくできたと思った。
- ・最初は動きも声もなかなかできなかったけど、練習を重ねて、声も動きも大きくなってきた。
- ・これからの学校生活でも、発表のときに大きな声でみんなに聞こえる声で発表しようと思った。
- ・難しいなあ、できるかなあとすごく不安だったけど、最後は自分もみんなもできて、頑張れば必ずいいものになることを学んだ。これからも何事にも挑戦するようにしたい。
- ・ただ声を大きくするだけでなく、表情からその時の気持ちが伝わるように、場面によって声のトーンに合わせて表情を変えることをかんばった。普段の生活の中でも相手に自分の気持ちがしっかり伝わるように意識したい。

4年生のあるクラスが発行している学級だよりに掲載された子供たちの振り返りです。自己肯定感が高まり、挑戦意欲や他者意識の高まり、これからの自分に対する希望にあふれているのが分かります。

生き生きと自分らしく伸びていくために役立つ行事となりました。